

共同運営部門：血液浄化センター

一概要一

血液浄化センターはおもに慢性腎不全患者さんに対して血液透析を施行する部門です。

透析ベッドは10床で入院患者さんのみを治療しています。慢性腎不全で新たに透析を開始する患者さんや、手術や他の合併症で当院へ入院が必要な透析患者(他院で透析施行中)さんに対して血液透析を施行します。

血液透析だけでなく、腹膜透析患者さんの管理も当センターでの大切な仕事です。

また、慢性腎不全のみならず、急激に腎臓のはたらきが低下(急性腎障害)して透析が必要となる患者さんに対しても血液透析を施行します。

腎不全(慢性腎不全, 急性腎障害)に対する血液透析以外にも血漿交換や、LDL-アフェシスなどの血液浄化療法にて治療できる疾患に対しても各種血液浄化を施行して治療を行っています。また、造血幹細胞採取や骨髄濃縮も血液内科の先生より依頼があれば施行しています。

集中治療室において腎不全を合併した重症患者さんに対して血液浄化療法(持続的血液浄化療法や血液透析など)を施行し、集中治療医と協力して治療にあたっています。

このように血液浄化療法を施行する以外にも、透析患者におけるバスキュラーアクセス(VA: 内シャント、人工血管やカテーテルなど)を作成したり、修復することも当センターの重要な役割のひとつです。VA手術やバルーンカテーテルを用いた修復(PTA)は当科の腎臓内科医が施行しています。

また、こういった血液浄化センターでの治療や処置は医師だけではなく、看護師、臨床工学技士によるチーム医療で成り立っています。特に、VAに関しては近年超音波検査(エコー)の役割は大きく、シャント穿刺やPTAにおいて臨床工学技士の協力が不可欠となってきています。

一研究業績数一

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際学会報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国内学会報告	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
研究会・講演会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術講演・講義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院内研究活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
座長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3

📅 平成31年度・令和元年度

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	シヤントマップを用いた患者管理	三角定弘,奥田重之,金口優生,川崎勇司,他	第64回日本透析医学会学術集会・総会	ポスター	2019.6.28
2	大阪府下の台風21号による被害と対応について	奥田重之	第64回日本透析医学会学術集会・総会	口演 (学会・委員会企画)	2019.6.28
3	自然災害による透析施設の被災を地域で支援する～平成30年台風21号を経験して～	奥田重之	第58回全国自治体病院学会	ポスター	2019.10.24